

第2回鎌倉市立大船中学校改築検討協議会 議事録

開催日時 平成22年6月23日(水)
午前10時00分より12時00分まで
開催場所 大船中学校 第一会議室
出席委員 飯田会長 長沢副会長 福井委員 前島委員 尾利出委員 飯田(黨)委員
横山委員 岩佐委員 戸辺委員 山崎委員 子安委員 秋山委員
幹事 第二中学校坂本教頭 経営企画課渡邊課長補佐 教育センター松平所長代理
学校指導課河合係長 建築住宅課飯山課長、石塚担当 環境政策課鈴木次長
生涯学習課福島課長補佐 スポーツ課小池課長 総合防災課郷原課長
事務局 教育総務部宮田部長 教育総務部三留次長
学校施設課中里課長 瀬谷課長補佐 都筑課長補佐 國兼担当

開会(午前10時00分)

[飯田会長より開会]

1 開会

- (1) 事務局及び幹事変更等説明
- (2) 前回議事録の確認
- (3) 学校敷地についての報告
- (4) 本日の進行について説明(資料1)

2 議事

飯田会長 今、事務局より説明がありましたとおり、今日は「基本理念」を中心に審議して頂きたいと思います。具体的な話というより全体を見据えたもので、「基本方針」へと繋がっておりますので、積極的に発言していただければと思います。

それでは、最初の話題提供として、学校現場をあくまであずかっていらっしゃる秋山委員からご意見がありましたら、よろしくをお願いします。

秋山委員 事務局で用意していただいた<資料3>に、掲げられてあります「明朗」・「自主」・「自立」が本校の学校教育目標の柱となっています。その中でも大船中学校は特別支援学級を併設しており、通常級と特別支援学級との交流、心の交流なども柱にしておりますので、「心の教育」・「生き方の教育」についてもぜひ、改築計画の中に反映させていただければありがたいと思います。重点目標に掲げられているようなことは、日々の教育の中で職員が生徒と築き上げていることなので、ぜひ「心の教育」・「生き方の教育」が十分発揮でき

るような施設整備をお願いします。

それと先般からも話が出ています本校の広さを利用しての校舎づくり、その他の施設としてのグラウンドは市内のいろいろな大会を行うこともでき、大船地域の方々から愛されるような施設整備をしていただきたい。

飯田会長 今、〈資料3〉に基づきまして、大船中学校教育現場からの提案がありました。〈資料3〉は良く書かれていて、現場も十分咀嚼しながら、みなさんや先輩からも意見を頂き、すぐれた「理念」と「その方針」をこれから策定していきたいとの秋山委員の話を受け、皆様もご遠慮なく意見をお出し下さい。

中里課長 「基本理念」について補足説明させていただきます。

前回の協議会で検討していただきました「大船中学校の現状と課題」を踏まえた上で、今回の改築によって大船中学校を「どの様な学校にしたいと考えるのか」あるいは、「どの様な学校になって欲しいと考えるのか」。そのようなことが改築についての「基本理念」ではなかろうかと考えていますので、堅苦しく考えず、自由にご意見をいただければと思います。

それから、基本方針の位置づけとして意見をいただいた「基本理念」を受けまして、新しい大船中学校は「いったいどのような施設環境がよろしいのか」ということにつきまして、「施設整備の視点」から、さらに意見をいただきたいと考えています。

〈資料2〉及び〈資料3〉の「かまくら教育プラン」・「学校教育目標」、さらに、ただいまの校長先生のご意見も参考にされながら検討をお願いします。

飯田会長 最初から難しい話が出ましたが、一番肝心な部分となります。私もいろいろな学校を見てきて、今までの日本の学校教育界は「理念」とかをあまり問題視しておらず、全国どこでも同じようなものであったが、これからはそれぞれの学校が「理念」を持って、その学校の良いものを残していく時代になると思います。たぶん大船中学校も今までの歴史がずっとあるわけで、どういふものを残していくか。そして、その延長上にこれからの世の中の中学校教育を取り入れるということです。

最後に、進行役があんまり発言してはいけないのですが、市の教育方針として〈資料3〉にある「自主」・「自立」などがこれから求められる教育方針で、以前は一律でまじめな子を育てるということでやっていたが、これからむしろ個性的で自立してあるいは自主性というようなことが、これからの市の基本を示すものだと思います。

長沢副会長 大船中学校の特別支援学級は昭和29年に県の中でも古い方から3番目にモデル校としてスタートして、その中で障害のある生徒と普通級の生徒交流はさかんに行われてきた。この学校の歴史を見ますと「福祉の心」あるいは「おもしろい心の心」が日常的に育まれてきており、教職員のもと学校を挙げて交流が行われてきた。その影響からやさしい生徒が多く、地域との関わりなども特色と言えるので、ぜひそのようなところも地域の中の学校として、「共生」とともに生きるといったようなことを念頭に入れて考えてもらいたい。

飯田会長 実際、たぶんこれからの世の中はみんなで共に生きていく必要があると思います。ぜひ、「共生」・「おもいやり」という言葉をキーワードとしてはということですね。

その他、遠慮なくいろいろな意見を述べて下さい。エコ関係ではどうですか。

前島委員 たとえば、緑の環境、緑化とか校庭の芝生化とかは心の落ち着きを養うには良いことではないかと、今日も晴れて緑あふれる校庭をみて潤いを感じますので、そのような環境づくりが重要だと思います。

飯田会長 実際の設計にあたっての話をいただきました。

長沢副会長 前島委員の話を聞きまして、中庭をぜひうまく残したいと思います。大船地域で大学、芸術館などの施設がありますが、この学校のように緑が集中した中庭は少なく、地域のお年寄りや保育園のこどもたちが学校の中に入り畑を耕したりしている。学校は防犯上の問題などで扉を閉めるようになりましたが、この学校の中庭の自然環境が地域のコミュニティーの核になっているので大事に残したいと思います。

飯田会長 一つのメッセージとして、畑などを造って、そこに地域の人たちも入ってくる事が出来る。そのようなことも実現可能な広さですね。

岩佐委員 朝、早くから地域のお年寄りが散歩させてもらっています。

戸辺委員 理念とかでなく、図面をみさせていただいて仮設校舎の位置は決まっているのでしょうか。それと、既存校舎がありますが、新しく建てる校舎の位置がここに決まっているのですか。

都筑補佐 次の議題で説明しようと思っていたのですが、学校と打合せで早期に生徒の安全・安心の確保のため仮設校舎を建設するスペースとして、校庭のスペースを使わずに配置できないかとのことで、現在テニスコートがある部分を使って仮設校舎を建てられないかと検討しているものです。このことについて、その他の議題で配置計画などについてご意見をいただきたいと考えています。

飯田会長 仮設校舎は、本校舎が立ち上がれば解体されるものですね。

都筑補佐 そのとおりです。

飯田会長 その後、緑地を造ることは可能ですね。

都筑補佐 可能です。

飯田会長 ただ、その場所に仮設校舎を建てるということは、その場所には本校舎が建てられないということになりますね。

都筑補佐 そのとおりです。仮設校舎を建てたところに本校舎を建てることは出来なくなるとお考えください。

飯田会長 建築の立場から福井先生、何かありますか。

福井委員 中学校というのは建築的には、なかなか良い建物がないといわれています。その理由として機能的に造らなければならないということがあると思います。ただ、生徒さん方が、一日の長い時間生活する場であり、長く記憶に残るような生活の空間として、快適に過ごせる空間として造らなければいけないと考えます。そのためには、外部施設の充実を行い、出来る限り低層にして外部と内部の空間が一体となっているような個性的な空間を大事にしたら良いのではないのでしょうか。特に、外部空間を重要視することが良いと考えます。

飯田会長 他にも遠慮なく意見を頂ければと思います。

秋山委員 私も今までにいろいろな学校を拝見してきていますが、大船中学校の現校舎は直線的ですごくシンプルです。この広い空間を利用して、周りが見渡せ、死角も少なく、そのことが子どもたちにとってもすごく良いのかなと思います。狭い空間に必要なものを押し込むと二棟に分かれたり、L字になったり、いろんな複雑の形になったりしてしましますが、現校舎は体育館に行くところに特別教室がありますが、そこを除けば直線的な校舎で使いやすい。そのような校舎づくりが一つの特徴になるのではと思います。

飯田会長 シンプルにということですね。今までもまた、これからもということですね。
ただシンプルもとても大事であるが、隠れるような空間も場合によっては多少複雑になるが親しみがもてることもありますね。しかし、わかりやすいですね。他に何かありますか。

飯田(薫)委員 私も平成7年から平成16年まで9年間、教員として大船中学校にいました。今、いろいろな方のお話を伺っておりまして思い出したことがあります。障害児学級の校舎(教室)が地図の右上にあり、そのそばに普通学級の校舎から低層で交流できる調理室があるのですが、障害児学級の子どもたちが、たとえばカレーを作って、先生方との交流のための空間となっています。この調理室は先ほどもお話があったように子どもたちの生活の場であり、ここで、晴れの日には中庭でベンチを出して外で食事もできて交流もできるという使い方ができていたことや低層ならではの使い方ができるこのような空間が思い出されます。見渡せる空間も素晴らしいが、このような空間がいろいろ多目的に使えていた学校だったと思い出されます。

飯田会長 つまり、これからもそのような空間を大切にしたいとのことですね。

尾利出委員 私も大船中学校に2年間在職していました。先ほどからいろいろな話を聞いていて、大中生は、挨拶もよくでき、大中の中には「ふれあい」がありコ

コミュニケーション能力を育まれている。私は近くの中学校ですが、大中学生はほんとうに素直で、普通級生と障害児生とのふれあいや地域の方々とのふれあいなど大船の中にはいろいろな豊かなふれあいがあり、その中で今、生徒に非常に欠けていると言われるコミュニケーション能力が大船の子どもたちにはかなり育っていると感じています。新校舎の改築についてもさらなる豊かなふれあいが、子どもたちのコミュニケーション能力を高めてくれると感じています。

つい最近、藤沢市で新しく改築された校舎に入らせてもらいました。3層分が吹き抜けになっており1階のフロアの広さが普通教室3つ程度あって、一つの学年が全部集会を開けるスペースがあり、グランドピアノも置いてありました。今の大船の校舎の中では出来ないようないろいろな催しができるだろうと感心してきました。新しくなる大船中学校の校舎も豊かなふれあいという中で、コミュニケーションの能力を高めることが出来るような施設整備をお願いしたいと思います。

飯田会長 ふれあいというキーワードで、ふれあいの対象は通常級の生徒、障害児級の生徒それから地域の方々の三者で、これからの教育は地域の人との「ふれあい」も重要であると考えます。

尾利出委員 鎌倉市は小中一貫教育を意識して打ち出し取り組んでいますので、小学生がぜひ大船中学校へ進学したいと願いを強くもっていただけるような学校施設であってほしいです。

飯田会長 小学生との交流は、たぶん地域や部活動などで恒常的に行われるものでなく、ときどき行われるものなので、空間の問題というより運営の問題になりますでしょうか。その他、何かありますか。

岩佐委員 地域の代表として、地域のメンバーと子どもたちの出会いを大事にしたいと考えています。もっともっと子どもたちと接することができればと思っています。中学生にもなると女子とは、握手できなくなりますが、僕は男子生徒とは握手しています、特に8組のメンバーとは握手や腕相撲をすることで、子どもたちから私が元気になるためのエネルギーをいただいています。残念ながら、8組のAさんとは毎朝、腕相撲しますがまだ勝てたことがないです。

飯田会長 地域の人と中学生と交流することで年配の方々が勇気付けられるということですね。

岩佐委員 たのしいですね。挨拶することは、尾利出委員が言われたとおり、すばらしいです。

飯田会長 地域との交流ができる空間がほしい、ぜひ設けようということですね。他に何かございますか。

横山委員 8組については、私が在籍していた当時、全国の学校の先生方が、視察に

こられていたことを嬉しく覚えていますので、そのへんの「共生」は最優先で考えていただきたいと思います。

先ほどの環境についてですが、もう少し具体的に広い敷地を活用して子どもたちが畑を耕し、野菜作りを体験し、その野菜を使い調理室で調理する。そういうことが出来る畑スペースの確保などもお願いしたいです。

また、最後に現在の図書館が出来たのも昭和28年で、歴史ある大船中学校の図書館であり、改築の際にも大船中学校の図書館らしいものを造って、生徒が中学校時代に書籍に親しみをもち読書の習慣を育むようにしてもらいたいです。

飯田会長 どうもありがとうございます。

最近の教室のあり方なども変化してきていてオープンスペースになってきた傾向がありますが、そのへんで福井先生何かありますか。

福井委員 一長一短あると思います。学校は機能的に造ることが求められ、どうしても生活空間としての安全性、健康性、利便性、その3つが中心であったことについて反省があって、快適な学びの場として最近の大学などは良いキャンパスが無いと学生が集まらないなどより快適なものが求められています。小学校などではオープン化され多目的に使える学校が増えてきているが、先生方からはいろいろな注文が出されているようです。

飯田会長 教室について区切ってしまう方が、管理上楽なのですが、私自身本当にそれで良いのかなと考えています。一遍にすべてオープン化することは難しいが、そういうものも取り入れるべきではないでしょうか。

横山委員 第二中学校の改築について、何か特徴的なあるいは参考になるような話が伺えればと思います。

都筑補佐 現在、工事中で来年の2月に竣工する予定です。

飯田会長 古都鎌倉の中心にあり、前の校舎の構造を基本として造られていますよね。

都筑補佐 はい、第二中学校は既存に木造校舎がありまして、その佇まいを残した意匠形態で、校舎の配置についても旧校舎を強く意識したものになっています。

飯田会長 他にございませんか。

ここで、いままでの意見を一度まとめさせていただきます。足りないところがありましたらよろしくお願ひします。

この中学の特徴として、「障害児級生と普通級生の交流が活発で、一つのメンタルの面で充実している。これはこれからの社会でも非常に重要なものであり、普通の社会でもただ頭がいいとか能力が高いということだけでなく、相手の立場が考えられることが出来る「共生」というキーワードとなるのでは。」「さらに倫理を大事にする。」「面積が広いことからただ木を植えるということだけでなく思想に基づいて設計していくことになるのでは。」「この場が教育の場だけでなく生活の場となるのでは。」「建物は低層が良いのでは。」

「内部と外部の空間が一体となるような空間づくりが良いのでは。」「シンプルな既存校舎のような構造が良いのでは。」「地域交流・外部からの交流できる空間が必要だと具体的には畑などを造っては。」「教室の構造についてはクローズ的だけでなくオープンな部分も必要なのでは。」「図書館についてもこの中学校らしいものにしたい。」などです。

さらに、文部科学省のエコスクール（環境を考慮した学校施設の整備推進）にある校庭の芝生化、太陽光・太陽熱利用、木材の利用などを取り入れ、自然共生している施設をつくり、そこに積極的に生徒が関わっていくような取り組みも大切なことだと思います。

少し話がそれますが、4、5年前の日本学術会議において、「人類は21世紀を迎えられることができるのか」と非常に真剣に話し合ったことがあり、これはご存知のとおり「地球温暖化対策」「人口問題」「資源不足の問題」あるいは「地球の環境劣化」などいろいろ議論して、そのために日本学術会議は何をすれば良いのかというもので、結局、資源が足りないのに人口が増えてきている中、人類社会の持続性を問われているときに自分だけのことでなく、他人のことを考えることが出来る教育が一つの解決策であるとなりました。そこで、持続させるにはどうしたら良いのか、「持続性」というキーワードも取り入れていきたいと考えています。

皆さんが、述べて頂いたことを網羅して、中間のとりまとめをさせていただきましたが他に何かあればお願いします。

長沢副会長 学校施設は一度改築すれば40～50年は使用することになる。よくよく考えると大船地域の特徴として大学があり、大学の隣には芸術館という施設があり、教育の部分でも大学、高校、中学、小学校の交流がされるようになるのではと考えます。それを考えた時にまちづくりバランスとして、地域の方がどのような学校を期待しているのか知りたい。地域の方々がどのようなことを学校に求めているのか知りたいなど、たとえば広域避難所としてヘリコプターも使えるが、ここを地域の方が安心して避難したい場所として求めているのか。

飯田会長 そういう時代だからこそ希望をもてるような教育、次世代を担う教育の場、ちょっと抽象的になりましたが。

さて、それでは、＜資料1＞の「現状と課題」「基本理念」さらに、＜資料2＞の「鎌倉教育プラン」というのは、鎌倉の中学校ですからそれらを踏襲するということですね。大船中学校自身の理念として、その鎌倉教育プランの「21世紀を担う子どもの育成」、これを逸脱してはいけないということ、逸脱しても良いが矛盾してはいけないということですね。

何のために校舎を建てるのか、これからの教育の理念となりますね。大船中学校の個性的な教育を行うためにはどういうものになるのかまた、そのためにどのような施設が必要なのかということですね。

鎌倉教育プランをあわせて次回あたり事務局より提案できますか。

中里課長 大船中学校の「学校教育目標」もございますので、その3つを整理いたしまして、次回の協議会の前までにお送りいたします。

- 飯田会長 基本理念と基本方針については今日の意見を基に原案を策定していただき、次回の協議会の前に送っていただきたいと思います。「理念」と「方針」が一番大事で、それが決まってくると次回はもう少し具体的な話となりますか。
- 中里課長 次回は具体的な施設整備の方針についてとなります。
- 飯田会長 次回にできれば、そのことを話し合えればということですね。
- 中里課長 今日、ご意見をいただいたのですがさらにこう考えるとかこういうこともあるのではないかとということがありましたら事務局へ9月上旬ぐらいまでにいただければそれを加味して考えさせていただきます。
- 飯田会長 特にそれは事務局にお願いしたいのですが、あらかじめ大船中学校の先生の意見を受け、策定して頂ければと思います。
- 中里課長 先生方とも話し合いたいと思います。
- 飯田会長 それでは、「基本理念」・「基本方針」については皆様にいろいろ意見を出していただいたので、どうもありがとうございます。
- 中里課長 先ほど少し話題に出ました仮設校舎ですが、なるべく早く仮設校舎の建設というところでは、考えています。今日、お手元に渡した図面資料について何か、ご意見等がございましたら私どもの方へお寄せいただければと考えています。
- 飯田会長 意見は9月10日迄でどうでしょうか。
- 中里課長 先ほど9月上旬と申し上げましたが、だいたい9月10日位までにいただければと思います。
- 飯田会長 それでは、引き続き<議題2>に移りたいと思います。その他についてですが、事務局の方で、何かありますか。
- 長沢副会長 その前に事務局に感謝を述べたい。
学校敷地を確保していただいたこと本当にありがとうございます。中学校の校長会、教頭会は前々から鎌倉市内の中学校グラウンドで、さまざまな競技が行えるのは、この学校しかないということで、グラウンドについては、大船中学校及び市内の中学校の中学生たちに喜んでもらえるようなグラウンドを整備していただきたい。
- 飯田会長 結果オーライですね。大船中学校のグラウンド活用も中学校用途限定で、大船中学校だけということではないですね。中学校施設として使うということであればということですね。
- 宮田部長 教育総務部長の宮田です。いまおっしゃられたとおり、大船中学校改築に

伴ってのお話で、大船中学校の使用がベースとなっています。ただ、大船中学校の考え方として市内中学校のスポーツの拠点としての位置づけの学校と考えています。

飯田会長 大船中学校が主体的に使っていれば、他の中学校、市民であれ利用できるとのこと、そのように理解して良いですね。

宮田部長 はい、そのように理解をしています。

飯田会長 <課題2>として、事務局の方で何かありますか。

中里課長 終了予定時刻の12時まで、少し時間がございますので、先ほどの仮設校舎について、ご意見があればと思います。

都筑補佐 現在、仮設校舎設置について、学校と打合せを行いながら検討していますが、仮設校舎といえども少し生活が長くなることから、グラウンドへ建てるとグラウンドが使えなくなる期間が長くなるなど影響が大きく、その意味でテニスコートがある辺りに設置できればと考えています。将来の既存校舎建て替え時にも工事ヤードとの区画、生徒の出入を配慮して、裏門及びできれば北側道路との間にある水路に橋を架けることを検討しています。それに伴い、横山委員から話が出ている昭和28年築の図書館は、既存校舎より少し早く解体されるようになる予定です。ただ、仮設校舎の検討は作業中であり、将来の改築計画に影響することから、配置を含め意見があればいただきたいと思ひます。仮設校舎が建っている場所には、新校舎を建てられなくなるとお考え下さい。

飯田会長 これだけ広い施設ですので、校舎の配置はメリハリの利いたものがよいのでは、たとえば、午前中を考えれば、仮設校舎を建てようとしているところに本校舎を建てると朝などは日当たりが良い。そういう問題もある。

長沢副会長 校長先生、既存プールは今、使われているのですか。

秋山委員 はい、プール清掃も終り、利用できるようになっています。

長沢副会長 プールは重要なのですか。

秋山委員 夏休みの開放はなくなりましたが、学校の使用としては1学期だけの使用になります。

横山委員 この校舎を残し、仮設校舎を建てようとしているところに新しい校舎を建てると仮定しますとこの校舎を使いながら建てるのが可能ですか。

都筑補佐 既存校舎を残して、新校舎を「設計・工事」することは、計画次第ですが、出来るものと考えます。

- 横山委員 仮設でなくいきなり本校舎を建てることのできるのか。
- 都筑補佐 大船中学校の校舎の耐震性が低い中で、早期に生徒の安全確保するためには、本校舎をいきなり建てることは「設計・工事」などに必要な時間がかかることから、少しでも早く生徒の安全確保するためには仮設校舎を早期に建てるべきと考えています。
- 飯田会長 既存の建物の耐震性が低いため、その校舎から早く避難させたいということですね。一般論から言うとこれだけの広さがありますので、空いているスペースに直接建てるということも可能だということですね。
- 都筑補佐 はい、そのとおりでグラウンドを含め、空いているスペースに建てるということであれば、新校舎が完成した後、既存校舎を取り壊し、その部分をグラウンドとして整備する方法もあると思います。しかし、生徒の安全確保については仮設校舎より数年遅くなると考えます。
- 尾利出委員 耐震基準を満たしていないということで早期に仮設対応をお願いしたいのと、もう一つ仮設校舎での活動が長期化すると仮設だけの生徒も何代かできてしまう。仮設校舎でも少し配慮していただき、立派な仮設校舎をお願いしたい。
- 長沢副会長 仮設校舎の図面で、西側、この図面の上の方にあたる部分は2階建てですか、それとも全部3階建てですか。
- 都筑補佐 いいえ、一部2階建てを考えています。北側に民家がありますので、影響がでないように一部低くすることを今は考えています。
- 飯田会長 今度の改築は既存体育館も含めて新しく造るということですね。先ほど福井先生が低層な建物が良いというのは、2階建てのことですか。
- 福井委員 2階建てということではなく、出来るだけ低層ということです。
- 飯田会長 仮設校舎の計画は、この協議会での話しでないかもしれないが、これから協議会で検討する本校舎の計画に将来に関わるということですね。
- 都筑補佐 協議会の検討事項とは違いますが、関わりが大きいことから報告させていただいています。今日の報告は、仮設校舎のプランが決定したというものでなく、今後の作業の中で詰めていくというものです。
- 飯田会長 校舎改築のマスタープランが出て、本来はそれらが決まるものですが、その辺は次回までに決まりますか。
- 都筑補佐 今回の計画は、来年度の予算要求のためのもので、今後、仮設校舎建設に向けて作業する中で、学校及び協議会などの意見によって多少の変更は可能かと考えています。

秋山委員 現場をあずかるものとして、先ほども長期にわたる可能性がある。そうすると生徒の心の負担等も考えますと現状の中であまり大きく動かしたくない。現状として、グラウンド利用も大きなウエートを占めています。そこへの仮設校舎等の設置は避けていきたい。そうすると、他に生徒が収容できる仮設校舎の設置場所として、テニスコートのところが良いのでは。本末転倒となっ
てはいけないのは、本校舎を建てる上で障害になってはいけないということもあります。新聞等で教育委員会の方で仮設校舎の前倒しを予算要求するとの話をいただいて、学校としては生徒の安全・安心という面ではありがたい。建てる場所としては早期と言われればそこになってくる。本校舎をそことは考えていなかったものですから、仮設の中でも、子どもたちが何年間か
過ごしても仮設の方が良かったねと言われるような校舎でお願いしたいなと思っ
ています。

飯田会長 普通仮設というと1年間もしくは1年間程度の期間が普通でしょうがこの
場合はもう少し長くなるのでしょうか。

都筑補佐 今、4年から5年程度の期間になると考えています。
1年生から3年生まで、仮設校舎で過ごすことにもなります。

子安委員 仮設校舎が建ちまして、既存校舎の解体が始まりますと体育館の使用規制
がかかるのでしょうか。

都筑補佐 既存体育館についても耐震性が低いですが、体育館については常に生活してい
るわけではなく、体育館の使用については学校と打合せしていこうと思ってい
ます。

長沢副会長 体育館の仮設というのは考えられないのか。

都筑補佐 体育館の仮設は、業者にも確認していますがリースで体育館を建てるとい
うことは、本当の体育館を建てるのと同じぐらいの費用が発生してしまいま
す。というのは、仮設の体育館の需用が少なく部材などの使い回しができな
いとのこと。さいわい、周辺には大船体育館など市の施設もあります。
そのような施設利用も検討していくようになると思います。

飯田会長 そのへんも体育館をどのようにするのか、はっきりさせていかないと。

秋山委員 第二中学校の校舎の取壊しに入ったときに体育館と一緒に壊すのかなと思
っていたが、体育館を校舎より後で壊し、それまで使用していた。仮設校舎
がテニスコートに建ったときは、利便性が少し悪いが、同じ敷地内であるし
小学校などの体育館をお借りしてというよりは本校の既存体育館をできるだ
け使用したいと考えています。

飯田会長 まだ、それは決まっていないということですね。

- 宮田部長 第二中学校を今工事していますが、第二中学校は体育館を最後に壊す計画です。第二中学校では体育館を校舎より先に建て始め、この夏からの（体育館）解体であって、新校舎の骨組などは出来てきているところです。
耐震問題などがありどこまで使えるか問題がありますが、いろいろな工夫もできるので、なるべく学校の授業とかクラブに影響しないよう考えたいと思います。
- 飯田会長 同じ敷地の中で建替えが出来る。ぜいたくな恵まれた話ですね。
- 横山委員 事務局に確認したいのですが、完成図の図面はいつごろ考えていられるか。
- 都筑補佐 完成図とはどこの部分でしょうか。
- 横山委員 何もかも、どこに畑をとか、完成のマスタープランそれがあって始まるのでは。
- 中里課長 基本計画の案をまず作る。その案を基本計画として、それから設計に入ってきます。今の時点では校舎内の教室をどのように配置しようか、校舎をどのように配置しようかと話し合っているところであり、まだお出しできる段階ではありません。
- 飯田会長 この委員会の最後の方で、そのようなものが見えてくるのでは、それを作っていくのがこの委員会の役割ですね。
- 都筑補佐 畑などをどこに設けるのかなどの詳細設計については、基本設計、実施設計が進んでいかないと難しいと思うのですが、今マスタープランでたとえば、校舎をこの辺に建てようか、こういう場にしようか、そういうおおまかなマスタープランというものはこの協議会の中の最後の方にまとめあげるときには案としては出来上がるはずで。その中で先行して仮設校舎を検討しているかと話があるものですから、仮設校舎を建てることによってこのような影響が出てきます。
- 飯田会長 案ですね。
- 都筑補佐 はい、そのとおりです。
- 飯田会長 今の仮設校舎についてもいろいろ問題を出していただいたので、検討していただきたい。
- 長沢副会長 仮設校舎については、学校や父兄の意見を全面的に受け入れてもらいたい。子どもたちも長い間生活するので仮設の影響がでてくると考えられる。
- 飯田会長 なぜ、改築工事が4年かかるのか、市として予算の問題ではないかと思うのですが。

長沢副会長 具体的には、仮設校舎を建てるにしても、いつごろ予算申請がされるのか。9月ごろでしょうか。そうすると平成22年でしょうか。

都筑補佐 平成22年度予算要求で、平成23年度建設となると思います。ただし、出来る限り早く措置したいと考えています。

飯田会長 仮設校舎の件については、だいたい以上でしょうか。

中里課長 次回の協議会の開催ですが10月ごろを考えています。
また、日程が近づきましたら、ご連絡を差し上げて具体的な調整をさせていただきますと考えています。

飯田会長 事務局から10月に次回を開催したいとありましたが、さらに何か意見がございましたらお願いします。

岩佐委員 エコスクールをぜひ導入したいですね。

飯田会長 他にないようでしたらこれで今日は終りにしたいと思います。ありがとうございました。